



2018年スタート!



12月本会議の報告 おもなものの

1. あざさ苑の自家発電機、町営住宅の雨漏り、中央公民館のエアコンの故障などの修繕費に出費がありました。
2. ふるさと納税では三宅のグローブが好調。入ってくる金額を増額修正。
3. あざさ苑の管理業者の指名を継続審議として持越し。
4. 四月一日からあざさ苑の調理室が一般貸出可能に。



↓↓ 私見(議会で合意を得た見解でなく、いち議員として個人的な見解)

1について:

やはり、どんなものでも維持費がかかります。年月の経過とともに劣化してゆくのは止められません。広域避難所となっている、小学校の体育館の雨漏りなども心配です。現在検討中の複合施設については、維持管理まで視野に入れて考える必要があります。



2について:

三宅町の地場産業に魅力があるということなので、うれしく思います。数年後にはグローブ生産から100周年だとも言います。三宅を盛り上げるためにグローブを・・・まずは知ることからかと思えます。



3について:

去年10月頃のニュースで、デイサービスでオカネを紛失したとありました。その後の経緯が不明瞭のため施設管理業者の指名を議会として一時ストップしました。2015年6月頃の社協組織内のゴタゴタが、2017年まで継続していたのかもしれませんが。当時、議員として追及されていた現町長は、今は社協の会長ですので、初心を思い出し組織の改善に努めて欲しいです。

4について:

これに関しては以前から、住民さんの要望がありました。住民さんの要望を「規則がないから」と拒絶せざるを得ないのは、住民主体という町づくりの精神に逆行します。「やっと」という感じがしますが、一歩ずつでも前進していると思います。



森内哲也活動報告

第9号

2018年1月



もりうちてつや
森内哲也後援会
三宅町伴堂137-9
Tel/Fax:0745-44-4194
メール:miyake@best-for-u.com
サイト:<http://mt.best-for-u.com>

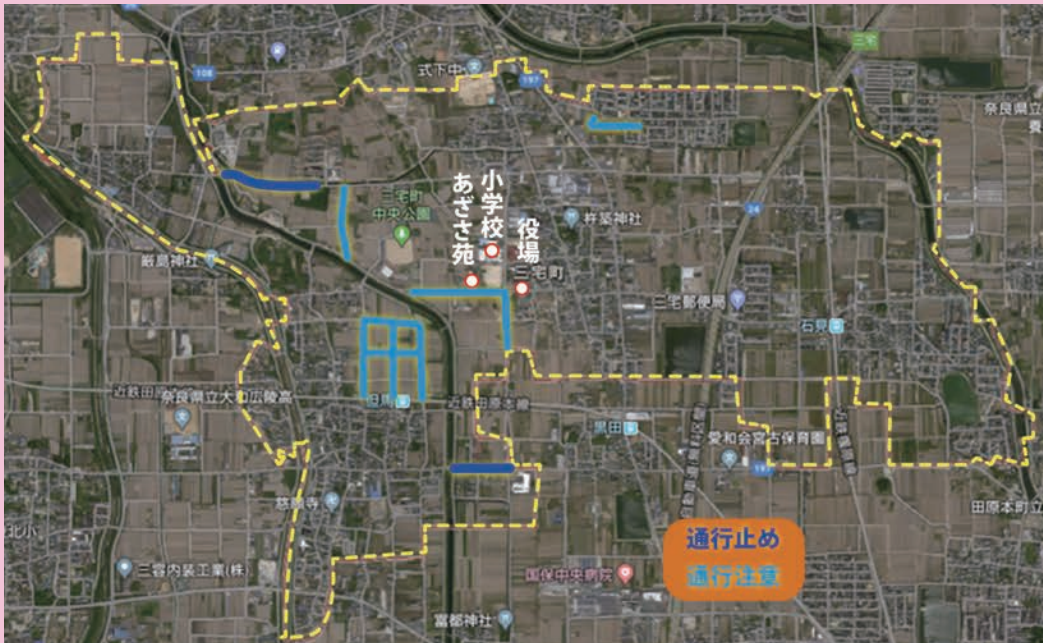


詳しくはwebで!



《昔から「水つき一番、日焼け一番」(三宅の絵本『雨たんもれ多度さん』より)》

昨年10月の台風は三宅町にも水害をもたらしました。また町内全域に避難指示が出ました。40年ほど前にも、避難指示が出て職業訓練校に避難したことを覚えています。町内の被害は、床上浸水4件、床下浸水27件、冠水による道路通行止め2か所でした。幸いにも寺川、飛鳥川、曾我川は決壊しませんでした。雨が流れ込む先が満水で、行先のない雨水が低い土地にあふれたというのが実情のようです。あれた水により通行不能、通行注意となった場所が下の写真です。「三宅町洪水ハザードマップ」を見ると、小柳地区は土地が低くなっています。東屏風団地もあまり高い土地ではないようです。現在、広域避難所が小学校となっていますが、



・平成30年度で「三宅町地域防災計画」の見直しに着手したい。
 ・水害、地震など災害種別に応じ、より具体的な計画に見直す。という理事者の回答がありました。

10月頃から開催されていた全4回の三宅町パパスクールに参加しました。台風の影響で日程変更もありましたが、内容は子どもと関わりを持つヒントになるものや、実際に子どもと体験し楽しむことが出来る充実したものでした。

しかし、参加人数が少なかったことが残念でした。事業の目的、内容が良かっただけに、もったいないという感じがします。確認したところ告知、募集にも随分と力を入れたようです。参加者をパパさんに限定せず、ジジやババ、ママあるいは、習い事のリーダーと子供たちに拡大していたら・・・主催が子育ての課だったので子育て世代が対象でしたが、限定せず、住民さん同志のつながりを作る機会という視点でも、事業の在り方を考えていたら・・・至らぬ点から考えるべきことはたくさんあります。「子育てしやすい町」以上に、地域の住民さんにとって近所の子どもと関われる機会がたくさんある「子育てが楽しい町」を目指したい、なんて考えています。

(2/18日曜日 三宅ファミリーフェスタが行われる予定です)



編集後記

いろいろなお意見をいただいています。メールでも連絡も可能です。家の前には専用ポストもありませう。
miyake@best-for-u.com

三宅町の議員に選んでいただいて、まる3年が経過しようとしています。任期は残り1年。やりたかったことはできたか？ 子供たちや孫たちに、父さんの育った町は：おじいちゃんの暮らす町は：と自慢できるような町にしたい。素人の私を議会へ送り込んで下さった皆さんには感謝しかありません。だからこそ議会でこんな事が起こってますよ、とお伝えしないとイケないと思っています。実際の議員という立場について、思っていることは、議員たちは何もしていないことはない、がしかし・・・議員や議会の活動について、住民さんは何もわからないだろう。行われる会議は形式ばかりで中身はあるのか？ 出される行政文章や政策の説明に使われる用語を理解するのは慣れが必要。国や県の施策や社会背景の勉強も必要。まずは、こんなところです。議員は勉強できないとダメではありませぬ、いろんな意見がある中で、それらを素直に聴いて自分なりに考えることができれば充分です。(続きはウェブで)